

お名前:

様 TEL:

★↓下記□へご希望日にチェックをお入れください。

日時・会費	希望	講演内容	講師略歴
10月14日(日) 13:00~14:30 会費:1500円	<input type="checkbox"/>	<p>■ベートーヴェンと第九</p> <p>今やわが国における年末の風物詩として広く定着した感のあるベートーヴェンの“第九”ですが、楽聖(ベートーヴェン)の生い立ちや素顔、また“第九”そのものについて、『歓喜の歌』ほどには案外知られていないようにも思います。本講座では、ご自宅で、あるいは会場で“第九”を鑑賞する際に役立つと思われるクラシック音楽やオーケストラに関する“ちょっといい話”などもご紹介しながら、尽きることのない“第九”の魅力について皆様とご一緒に訪ねてみようと思います。</p>	<p>■小山 純裕 ヤマハ(株)音楽普及部 企画制作チーフプロデューサー</p> <p>日本楽器製造(株)(現ヤマハ(株))九州支店を経て、ピアノ事業本部アーティストサービス部コンサートサービス室主任。内外著名ピアニストのグローバル対応、コンサートピアノ/R&amp;D、及びヤマハピアノコンサートの全国展開に従事。その後、国内楽器事業本部音楽企画制作室チーフプロデューサーとして、福岡アクロス・シンフォニーホールやすみだトリフォニーホール開館記念事業、またサントリーホールや東京オペラシティにおけるファミリーコンサート、さらに文化庁舞台芸術国際フェスティバルなど、数多くの舞台制作を手がけるかたわら、昭和音楽大学などの特別講師を歴任。</p>
10月21日(日) 13:00~14:30 会費:1500円	<input type="checkbox"/>	<p>■英語折り紙教室</p> <p>今回のチャリティコンサート寄付先の一つ「SOS子どもの村」訪問ボランティアで、子ども達に日本の美しい文化「折り紙」を通じて一緒に楽しい時間を過ごして頂く為に必要な、英語と簡単なドイツ語で折り紙を教える方法をお教えします。今回のボランティアに限らず紙さえあればいつでもどこでも使える国際交流のツールとしてずっと活用して頂く事ができますので、訪問ボランティア以外の方も是非ご参加下さい。</p>	<p>■樺島聖子・金子弘子 日本折紙協会講師</p> <p>趣味・教育・リハビリテーション効果など様々な可能性を持つ「折り紙」を、日本国内はもとより、世界の国々まで普及させよう、という思いから、1973年(昭和48年)10月27日、日本折紙協会が結成されました。一枚の紙から折り出される、花や動物・・・日本に古くから伝わる文化として、一人一人の心の中に生きづいてきた折り紙の素晴らしさ。それがいま、世界共通語「ORIGAMI」として、世界にはばたいています。</p>
10月28日(日) 13:00~15:00 会費:1500円	<input type="checkbox"/>	<p>■旅先のスケッチ教室・絵画展</p> <p>ウィーン幻想派、ミハエル・クーデンホーフ＝カレルギー画伯に、旅先での簡単で楽しいスケッチのコツを教えて頂く教室です。創作にご多忙な画伯が絵を教えて下さる機会は極めて稀で、今回は2度とない非常に貴重なチャンスです。風景写真をご用意致しますが、ご自分で描きたい題材をお持ち戴いても結構です。材料は各自ご用意いただきますが色鉛筆・クレヨン・水彩などお好きなものをご用意下さい。</p> <p>今回はギャラリー江夏様の特別協力により、会場にて画伯の作品の展示会も開催致します。(版画・水彩・油彩など約20点)販売も致しますのでどうぞご覧下さい。(作品の売上の一部が寄付されます)</p>	<p>■ミハエル・クーデンホーフ＝カレルギー 画家</p> <p>ブラハに生まれ、第二次世界大戦後ウィーンに移住して同地とグラーツで美術を専攻、ウィーン美術アカデミーで生まれた「ウィーン幻想派」に属する現代ウィーンを代表する画家。ミハエルの祖母は明治時代に在日オーストリア・ハンガリー帝国代理公使ハインリッヒ・クーデンホーフ＝カレルギー伯爵と結婚したクーデンホーフ＝ミツコ。ウィーン社交界の華として国際社会から注目を浴びたその数奇な運命は、書籍や吉永小百合主演のNHKドキュメンタリーなどでも広く知られる。ミツコの次男でミハエル画伯の伯父にあたるリヒャルト・クーデンホーフ＝カレルギー伯はEU誕生の母体となった「パン・ヨーロッパ」の提唱者である。画伯はこの伯父と若き日に語り合った世界観を、ペンに代えて絵筆に託したという。それは伯父のコスモポリタニズムの思想を超えて、存在するものへの、在りとしるものへの友愛の念である。</p>
11月04日(日) 13:00~14:30 会費:1500円	<input type="checkbox"/>	<p>■国際交流マナー教室</p> <p>「国際交流」の心得や注意すべき点など、外務省提供の事例を踏まえて説明致します。</p> <p>①世界の人々(心に残る出会い) ②国際交流とは ③国際マナーとエチケット ④英語ワンポイントレッスン ⑤海外での安全対策</p>	<p>■及川伊佐子 社団法人国際フレンドシップ協会事業部長</p> <p>大学卒業後、住友商事(株)勤務。米国カリフォルニア州立大学留学。政府および民間の国際交流、支援活動に従事、現在、(社)国際フレンドシップ協会事業部長。</p> <p>法人国際フレンドシップ協会は「国際間の相互理解と友好関係の増進及び文化の交流と会員相互の連絡を計り斯業の公益使命の達成を期すること」を目的とし、1969年6月に外務省を所管とする公益法人として設立されました。以来、国際間のスポーツ交流等を実施。外務省後援による「ジュニア大使友情使節団」の派遣、その他各種国際研修・交流事業等を実施しています。</p>
11月11日(日) 13:00~14:30 会費:4000円 (ワイン代込み)	<input type="checkbox"/>	<p>■オーストリアワインの基礎知識</p> <p>ウィーンを訪れる皆様には、ハプスブルク帝国時代の遺産であるオーストリア料理の完成度の高さ、そしてフランスよりも古い歴史を持つ独自のワイン文化にも是非触れていただきたいところです。講座では、今欧米のグルメシーンを唸らせている辛口白ワイン、特にこの国独自の品種「グリューナー・ヴェルトリーナー」を中心に、冷涼な気候と独自の土壌が産み出す、ミネラル感溢れるワインの魅力をご体験いただきます。</p>	<p>■岩城ゆかり ワインコンサルタント</p> <p>広告関係会社勤務の後、ワインショップでの販売、インポーターでのPRマネージャー、外資系スーパーでのワイン・バイヤーの経験を経てワインコンサルタントとなる。共著に「オフィシャル・オーストリアワイン・ガイドブック」(美術出版社)。「ワインアート」「ワイン王国」他ワイン雑誌、業界誌にも執筆。WSET銀座校、美術出版アカデミーで講師も務める。上智大学外国語学部卒。JSAワインアドバイザー。WSET Higher Certificate。</p>
11月18日(日) 13:00~14:30 会費:1500円	<input type="checkbox"/>	<p>■国境なきボランティア</p> <p>国境なき医師団は1971年にフランスで設立、1999年にはノーベル平和賞を受賞。日本には1992年にMSFフランスの後援のもとに設立。世界18か国の支部と2か国の事務局を持つ国際的な組織で、より良い明日を目指して国境を越えて医療活動を展開しております。国境なき子どもたち(KnK)は国境なき医師団日本の主導、協力の基に日本に設立され、各国の恵まれない子ども・青少年と日本の子ども・青少年が友情を結び、お互いの理解を深めることを目的に教育活動を行っています。今回のボランティアの目的をもう一度再確認する為、国境なき医師団と国境なき子どもたちの活動についてお話を戴く予定です。</p>	<p>■寺田朗子 「国境なき医師団」元会長 「国境なき子どもたち」支援委員</p> <p>東京生まれ。雙葉学園、東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒。グルノーブル大学留学。92年、「国境なき医師団日本」にボランティアとして参加。97年12月「国境なき医師団日本」副会長、98年12月、同会長に就任。2005年3月に会長職を退き、理事に就任。「国境なき医師団」は、天災、人災、戦争など、あらゆる災害に苦しむ人々に、人種、宗教、政治体制、国家を超え、医療援助の手を差し伸べるボランティア団体であり、1999年にノーベル平和賞を受賞した。現在は「国境なき医師団日本」理事を退任し、「国境なき子どもたち」支援委員会の代表委員として、テレビ、ラジオ、大学ほか各種団体にて、幅広く講演活動を行っている。</p>